ボイラ用圧延鋼板及び圧力容器用圧延鋼板に関する事項

改正規則等

鋼船規則 K 編
鋼船規則検査要領 K 編

改正事項

ボイラ用圧延鋼板及び圧力容器用圧延鋼板に関する事項

改正理由

鋼船規則 K 編 3 章 3.2 には、JIS G 3103「ボイラ及び圧力容器用炭素鋼及びモリブデン鋼鋼板」を参考に、ボイラ用圧延鋼板に関する要件が規定されている。また、同規則 3 章 3.3 には JIS G 3115「圧力容器用鋼板」を参考に、圧力容器用圧延鋼板に関する要件が規定されている。

当該 JIS については、これまでに ISO 規格及び ASTM 規格との整合を目的に、随時改正が行われていることから、今般、最新の JIS G 3103 及び JIS G 3115 を参考に、関連規定を改めた。

改正内容

主な改正内容は以下のとおり。

- (1) ボイラ用圧延鋼板及び圧力容器用鋼板の化学成分について、規格値を一部改めた。
- (2) 供試材に熱処理を行う場合の取り扱いを改めた。
- (3) 圧力容器用圧延鋼板に TMCP を行った場合の炭素当量の上限値及び炭素当量の算式を規定した。
- (4) 圧力容器用圧延鋼板の熱処理に関する表示記号に、鋼板に応力除去焼きなましを行う場合の記号を明記した。